

# 7.12 その日は**突然**やってきた――

平成24年7月12日未明

九州北部を襲った豪雨は菊池市に大きな爪跡を残していった。

幸いにも市内の死者・行方不明者はゼロ。

想定外の状況の中、被災地の住民を救ったのは

声掛けや助け合いといった地域のつながりだった。



←北桜ヶ水区の被災した道路。2メートル以上洗掘され、埋設された配水管が露出している。



←旭志伊萩地区で発生した土砂崩れにより押しつぶされた家屋。2人が生き埋めとなったが地域住民の素早い対応で無事救助された。



←泗水町福本地区では合志川が氾濫し、多くの住宅が浸水被害を受けた。消防団と地域住民の活躍でいち早い救助活動と復旧を遂げた。

「生活道路が復旧するまでの間、私もたくさんの人たちに助けてもらいました。大きな災害を前にしたとき、一人では何もできません。みんなが助け合うことの大切さを改めて知ることができました」

今回の経験から、地域に防災意識が広がっていった。「あの災害の後、区で話し合いをして、高齢者宅を見回ろうということになりました。これから地域のつながりを大切にしていきたいです」

は当時、地域の人への感謝の言葉を口にしていた。地域のつながりの強さが、迅速な救助活動へとつながった。

「生活道路が復旧するまでの間、私もたくさんの人たちに助けてもらいました。大きな災害を前にしたとき、一人では何もできません。みんなが助け合うことの大切さを改めて知ることができました」

そんななか、いち早く動いたのが地元消防団と住民だった。隣近所に声を掛け、高齢者宅へと救助に向かう。無事避難所にたどり着いた人々

押し寄せる濁流は、舗装された道路さえもえぐり取るほど勢いを増していった。電気や水道といったライフラインもストップ。一時孤立状態となった同区には高齢者世帯が多く、自力で避難できない人も多かったという。

るとしても、台風くらいだろうと思っていました。まさか水害に遭うなんて……」

目を疑う光景に言葉を失った。自宅は床下浸水で収まったものの、豚舎には濁流が押し寄せ、子豚40頭が流された。土砂は豚舎の屋根付近まで堆積したという。

近くに大きな川はなく、これまで水害の経験もなかった。「災害があ

目をつけた。目の前に濁流が押し寄せ、子豚40頭が流された。土砂は豚舎の屋根付近まで堆積したという。

目を疑う光景に言葉を失った。

自宅は床下浸水で収まったものの、豚舎には濁流が押し寄せ、子豚40頭が流された。土砂は豚舎の屋根付近まで堆積したという。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

目を疑う光景に言葉を失った。

特集

## 地域力+防災力



Interview

河本陽一さん（北桜ヶ水）

### ●写真

河本さん宅付近の道路の被災状況。濁流によりおよそ2キロにわたって破壊され、車両などの交通手段を奪われた。（平成24年7月13日午前10時撮影）

### 市内の主な被害

|             |       |
|-------------|-------|
| 死者・行方不明者    | 0人    |
| 軽傷者         | 2人    |
| 住家全壊        | 1棟    |
| 住家半壊        | 1棟    |
| 住家一部損壊      | 4棟    |
| 住家床上浸水      | 84世帯  |
| 住家床下浸水      | 142世帯 |
| 公共施設被害（公民館） | 2棟    |





14九州北部豪雨で増水した菊池川。堤防を越えた水が家屋に浸水した（田中会長撮影）  
2火災時に誰でも防火用水を確保できるように可動堰の場所と使い方を把握  
3班の担当者と連絡体制が一目で分かるように公民館に防災組織図を掲示  
5毛布と竹を使って担架を製作 6消防署員に指導を受けながら消火訓練に挑戦

### ●自主防災組織

地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の下、自発的に防災活動を行う組織。平常時は、防災知識の普及、防災資器材の整備、防災訓練などを実施。災害時は、避難誘導や安否確認、避難所の開設・運営協力などを行う。



佐藤美保さん④  
睦月ちゃん⑤

初めて消火器を使いました。使い方は知っていたのですが、いざやってみると思っていたより噴射の勢いが強く、しっかり持っておくことが大事だと分かりました。



北野繁雄さん

毛布で担架をつくるなど、普段は思いつかないことでとてもためになりました。防災の意識を忘れないためにも、活動が続けていくことが大切だと思います。

### 防災の基本は、助け合い

「北宮区は菊池川沿いで、昔から水害が起こりやすい地区。九州北部豪雨災害では菊池川の水が堤防を超え、床下浸水の被害がありました。市からの相談もあり組織の必要性を感じました」と北宮区防災組織会の田中会長は設立の思いを語る。

市内には自分たちの地域は自分たちで守ろうと、防災活動を行っている地区がいくつかある。北宮区もその一つ。3月に自主防災組織を立ち上げ、4月6日、区で初めての防災訓練を実施した。

訓練には区民約30人が参加。菊池広域連合北消防署の職員を講師に招き、消火器による消火訓練のほか、毛布と竹を使った担架の作り方など体験型の訓練を行った。「訓練を通じていろんな気付きがありました。消火訓練では火の根っこを狙うように指導されましたが、うまくできない人がいました。もしものときにしっか



Interview  
北宮区防災組織会  
田中昭雄会長

「もしも隣が火事になったら、自宅の消火器でもみんな使うように願っています。中身の入れ替えは区の防災費で賄います。防災の基本は助け合い。向こう三軒両隣の精神です」

識の浸透を図る予定だ。



毛布と竹（丈夫な棒）を使った応急担架の作り方→



Protect Safety  of Community

## 地域の安全は地域で守る

災害の経験から防災力を高めようと活動する地域がある。  
火事や災害が起こったとき、現場でいち早く対応できるのが地域。  
声を掛け、支え合い、助け合うためには、住民同士のつながりが大切だ。

### 求められる地域防災

旭志麓で発生した災害のように、道路が寸断された被災地では消防が現場に駆けつけるまでに時間がかかる。そのような状況下では、地域で助け合う「共助」の取り組みが重要となる。その取り組みを効率よく行うための組織が「自主防災組織」（以下組織）だ。組織の必要性が認識されたのは、平成7年の阪神淡路大震災が契機。家屋の倒壊などによる生き埋めや閉じ込められた人のうち、消防など公的機関の救助活動（公助）によるものはわずか2%で、多くは自力（自助）または家族や隣人などの地域住民によって救出（共助）された。

4月1日現在の組織率は全国平均で78%。熊本県の平均は71%で、市は54%といずれも全国平均を下回っている。県危機管理防災課の堤さんはこう説明する。「これまで県内で広域的な大災害がなかったことが、組織率が低かった要因の一つと思います。県内



Interview  
熊本県危機管理防災課  
堤 正治さん

には土砂災害などの危険地域はたくさんあります。組織の設立をとおして、行政と地域が協力（連携）して災害に備えなければいけません」  
県は平成27年度末までに組織率80%以上を目指す。昨年度から防災資器材整備費の全額補助（上限5万円）も始めた。組織支援員を配置し設立支援なども行っている。「組織の第一の目的は地域住民の防災意識の向上を図ることです。大掛かりな訓練でなくても、自治会のイベントなどで防災の話をしたり、どんな終わりに消火訓練をしたりなどすぐにできることもあります。老人会と一緒にすれば、災害時要援護者の把握もできますし、そうした工夫で息の長い活動をしていくことが大切です」



# 自主防災組織の設立と活動を支援します

## 菊池市自主防災組織設立事業補助金

- 対 象 自主防災組織の設立に要する会議費・防災資機材購入費・訓練経費
- 新規設立補助 10万円（県5万、市5万）上限
- ☎防災交通課 ☎ 0968(25)7203



↑ 補助金で整備した防災資器材の例

## 地域が一体となった自主防災活動支援事業

- 自主防災組織のモデル地区を募集します。
- 目 的 自主防災組織の活動に対する理解不足や負担感を拭い去るため、標準的な活動をモデル的に実施してもらい事例集を作成します。事例集は組織未設立自治会などに提供し設立を促します。
- 募 集 県内 10 組織程度
- ☎防災交通課 ☎ 0968(25)7203

## 地域防災組織育成助成事業

- 自主防災組織育成助 一定地域の住民により結成された組織が行う防災活動に必要な設備などの整備（建築物・消耗品は除く）。
  - ・助成金 30万～200万円
- 消防団育成助事業 地域防災のリーダーである消防団の装備拡充を図り、住民から積極的な協力を得るために必要となる設備などの整備（建築物、消耗品は除く）。
  - ・助成金 50万～100万円
- ☎企画振興課 ☎ 0968(25)7250

## 市民必携！菊池市防災マップ

- 市内全域の洪水・土砂災害危険箇所、避難所、緊急連絡先、家庭や地域でできる防災対策など、命を守るための情報を網羅しています。市民の皆さん必携の1冊です。
- ▼ダウンロード
- <http://www.city.kikuchi.lg.jp/q/aview/256/2960.html>
- ☎防災交通課 ☎ 0968(25)7203

## 熊本県自主防災組織結成・活動の手引き

- 組織の結成の仕方から活動手法まで分かりやすく解説した手引きです。県ホームページからダウンロードできます。すでに組織を設立した地域にもためになります。
- ▼ダウンロード
- <http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/12/jishubou-tebiki.html>
- ☎県危機管理防災課防災企画班 ☎ 096(333)2811



## 「住民の負担にならないよう、無理なく楽しみながら」

### Interview



加恵自主防災会  
栃原賢一さん

加恵区は以前、水害が多い地区でした。菊池市防災マップでも、水害で浸水するおそれがある地域になっています。災害のときには住民同士で助け合いながら乗り越えてきました。

近年は高齢化が進み、高齢者の単身世帯や空き家が増え、防災・防犯面からも不安が増えています。そういった地域の不安を取り除くためにも自主防災組織が必要だと感じました。

今回の訓練では、使用期限切れになった消火器を更新するのに合わせ、「せっかくならば使っushimaおう」ということで消火訓練を行いました。消防署に講師を依頼し、火災時の対応手順

や消火器の使い方などを指導していただきました。初めて経験する人も多く、万が一に備えて良い経験ができたと思います。

次回は区の行事に合わせて放水訓練を予定しています。消防団以外でも初期消火活動ができるようにするためです。毎年8月に開催している区民体育祭のときには、救助法を取り入れた競技も検討しています。たとえば担架を使った技巧走とか。

組織をつくったからといって、それが住民の負担になってしまつては意味がありません。できるだけ無理なく楽しみながら、しかも実益のある活動にしていきたいと考えています。



1「火事だー！」と叫んだ後、勢いよく燃え上がる炎めけて消火剤を噴射 2火災時の対応手順を説明する北消防署の阪本博英救助係長 3子どもから高齢者まで約60人が参加し消防署員の話真剣に聞いていた



子どもは消火訓練の経験がありましたが、私は初めての体験でした。もしもに備えての予行練習ができて良かったです。

佐々千裕さん④  
実嶺ちゃん④ 和優ちゃん④

万が一のときにはパニックになって習ったとおりにはできかどうか分かりません。いつでも対応できるよう備えておくことが大切だと思いました。

栃原信吾さん④  
一輝くん④

火事の初期消火や災害からの早期避難など自主防災組織が担う役割はとても重要です。地域の防災力強化のために私たちも全力でサポートします。

菊池広域連合北消防署  
第3消防課救助係長  
川上裕樹さん



知ることは防災の第一歩

市内の火災・災害・防犯情報が携帯メールに届きます

## 菊池市安心メール

簡単です！

### ■登録手順

- ①携帯「メール」画面を開き「新規メール」「新規作成」などを選択。
- ②「メール作成」画面を開いたら、宛先（TO）に直接「kam@123123.tv」と入力し、空メールを送信。
- ③10分程度で「菊池安心メールのご登録」というメールが届きますので、メールを開き、文章の下端にあるURL（アドレス）を選択してください。
- ④「会員登録」画面を開いたら、各自当てはまる項目にチェックして「登録」を選択します。

**登録する内容** 1. 氏名 2. 性別 3. 生年月日 4. 携帯電話番号 5. チェック項目（該当する項目がある場合）

※メールが届いてから12時間以内に登録を行わないと無効になります。その場合は登録手順をやり直してください。

### ■メールが届かなくなった人

空メールを送信しても返事が来ない人へ

以前は安心メールが届いていたのに届かなくなった場合や、登録のために空メールを送信したのに返信が届かない場合は、迷惑メール対策などの設定が影響している可能性があります。「ドメイン指定受信設定」で確認してください。詳しくはホームページをご覧ください。

#### ▼ドメイン指定受信設定方法

<http://www.city.kikuchi.lg.jp/q/aview/256/3053.html>

※必ずドメイン「123123.tv」のみ入力するようにしてください。

※携帯電話の使用方法など、不明な点は各携帯電話会社にお問い合わせください。

- docomo お客様サポート ☎ 0120(800)000
- au お客様サポート ☎ 0077(7)111
- SoftBank カスタマーサポート ☎ 0800(919)0157

テレビ(データ放送) 住民情報サービス

## デタポン

RKK放送局と協力し、テレビを使った住民情報発信サービスを行っています。市からのお知らせやイベントなどの行政情報のほか、防災に関する情報も発信しています。

### ■視聴方法

- ①RKKテレビを視聴します。  
(地上デジタルテレビ3チャンネル)
- ②リモコンのdボタンを押します。
- ③テレビ画面に表示されたメニューの中から「デタポン」を選択し、決定ボタンを押します。

※データ放送に対応していない受信機では視聴できません。

パソコンやワンセグでも閲覧できます。

ワンセグ



RKK 3ch

パソコン



RKK 3ch

ワンセグ・パソコンの場合は、地域を選択する必要があります。また、ワンセグで閲覧する場合には、パケット料金が発生します。

緊急情報をすばやくキャッチ

## 緊急速報「エリアメール」

配信を開始しました

災害時、避難勧告などの情報伝達を防災行政無線で行っていますが、より多くの皆さんに情報を伝えるために、緊急速報「エリアメール」サービスの配信を開始しました。

エリアメールサービスとは、市内にいる携帯利用者に対して一斉に情報を配信するサービスです。基本的に設定は不要で、使用料・情報料は無料です。

### ■エリアメールの特徴

- 受信すると専用の着信音が流れ、メール内容が携帯電話の画面に自動的に表示されます。
- 市内に観光や仕事などで訪れた人も受信できます。

### ■受信可能な情報種別

- 市が配信する情報（避難勧告、避難指示、その他緊急かつ重要な情報）
- 気象庁が配信する情報（緊急地震速報）

### ■その他

- 事前の申込みは必要ありませんが、携帯電話の機種によっては、「エリアメール」が受信できなかったり、設定変更が必要な場合があります。詳しくは各携帯電話会社にお問い合わせください。

# だから、常に備えることが大事。

本市は、▼津波の心配がない▼災害拠点病院がある▼自衛隊などの応援部隊が比較的短時間で到着できる▼消防団や女性の会の活発な活動—などの安心材料があります。しかし、平成24年7月九州北部豪雨は記憶に新しく、過去にも集中豪雨や台風などで大きな被害が発生しており、決して油断はできません。市内には16カ所の土砂災害特別危険区があり、浸水危険地域とともに大雨の際には常に警戒しておく必要があります。皆さんのご家庭に配布してある菊池市防災マップに記してありますので、近くに危険箇所がないか、ご家庭でぜひご確認ください。

必要とする人が約8千人います。この人たちが災害の犠牲にしてはなりません。そのためには、地域の防災力が必要です。避難誘導や救出救助、避難所運営の主役は、地域住民自身であることを忘れてはいけません。

「防災の主役は地域住民」

地域活動が、防災活動にとって重要な要素になるのです。「自分の安全は自分で守る」「地域の安全は地域で守る」という「自助・共助の精神が防災の基本」であることを今一度思い起こしていただき、自主防災組織の設立と、積極的な参加をお願いします。



防災交通課長 古田浩敏

Protect Safety  of Community

1 市役所で6月7日、県、警察、消防と連携し災害対応図上訓練を実施。新たに作成した地域防災計画と災害対応マニュアルを検証しつつ、梅雨期の災害に備えた 2 被害状況を要約表に記入。大雨により土砂災害警戒情報が発令され災害警戒本部を設置。避難勧告の発令や陸上自衛隊へ災害派遣要請などを想定して行った 3 記者会見シミュレーション 4 訓練終了後の検討会。情報の統制ができていない、地図に不明者数や時間などの記入がない、外部支援受け入れ体制が不備などさまざまな課題が見つかった

